

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきまいすたー かわさきマイスター		
32-7			
エリア	—	シーズン	通年
	—	日時	
目的	<input type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input checked="" type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代的な文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物		
所在地	川崎市川崎区駅前本町1番地2 フロンティアビル6階		
問い合わせ	川崎市経済労働局労働雇用部		
TEL	044-200-2242		
FAX	044-200-3598		
E-mail	28roudou@city.kawasaki.jp		
URL	http://www.city.kawasaki.jp/25/25kinrou/home/mister/index.htm (かわさきマイスター)		
交通			



写真提供：川崎市経済労働局労働雇用部

基礎情報

- 川崎市では極めて優れた技術や卓越した技能を発揮して、産業の発展や市民生活を支える「もの」をつくりだしている市内最高峰の技術・技能職者を「かわさきマイスター」に認定し、素晴らしい匠の技術の継承や超一流の技能の普及・振興活動を支援している。
- 平成27年度までに美容師・板金・ものづくり多能工など65職種86名の匠が「かわさきマイスター」として認定されている。(川崎区内に在住または在勤の方は24名)

由来・エピソード

- かわさきマイスター制度は「ものづくり都市川崎」の基盤となる技術・技能職者の尊重・継承・発展を願うシンボリックな存在として、平成9年度に創設された。平均年齢67歳で勤続年数40年以上の各職種の「達人」であり、世界的に高い評価を得ているマイスターもいる。
- 応募条件は、①市内に1年以上在住・在勤の現役の技術・技能者②年齢40歳以上、応募職種に勤続25年以上であり、自薦・他薦は問わない。毎年4月～5月に募集を行い、厳正なる選考を経て、11月中旬に発表される。認定者には認定証、報奨金、記念品が贈呈される。
- かわさきマイスターは、教育現場、企業等にて実演、実技指導等、技能会館等にて講習会を開催し、技能継承や後継者育成に努め、技術・技能に対する認識を深めている。また、市民祭りや各区民祭りなどにて長年培った超一流の「技」を披露・製品展示し、技術・技能の普及・振興活動を行う。マイスターの技能を集結したものづくり事業に取り組んでいる。

補足・その他

- 川崎区在住・在勤のマイスターの方々
 - 【平成9年度】佐々木淑子(美容師)、佐藤武(石工・石積み)、中村量貢(建築板金)
 - 【平成10年度】山城薫(重量とび)
 - 【平成11年度】大橋明夫(プレス順送・金型設計制作)
 - 【平成12年度】鍵屋清作(金属ヘラ絞り)、熊谷隆(プラント溶接)
 - 【平成13年度】石川精三郎(製缶士)
 - 【平成14年度】小林伸光(和服洗い張り)、前原昭(木型工)
 - 【平成17年度】竹内三郎(円筒研削技能士)
 - 【平成18年度】鈴木貞吉(難切削特殊加工)
 - 【平成19年度】飯嶋義弘(時計技能士)、野浦悠一(ものづくり多能工)
 - 【平成20年度】平賀正明(生産システム(加工・組立)の設計・製作)
 - 【平成21年度】久保田宗孝(デザイン彫金士)
 - 【平成22年度】出井明(椅子製造業)、永恵一(クリーニング)
 - 【平成23年度】伊原正男(内装仕上技能士)、堀切義昭(金属製品塗装技能士)
 - 【平成24年度】小林昭二(築炉工)、二宮泰雄(表面処理)
 - 【平成25年度】比屋根卓(板金工)
 - 【平成26年度】吉澤秀人(金属切削加工)
 - 【平成27年度】伊藤日出世(難削材精密加工)、島田昌順(電気めっき技能士)
- 敬称略

関連シート

(5-6)金床(福嶋鐵工所)